

「令和5年国民健康・栄養調査」について、「正誤表」のとおり訂正しました(令和7年3月 18 日)。

(正)

2. 糖尿病に関する状況

「糖尿病が強く疑われる者」の割合は男性 16.8%、女性 8.9%である。この 10 年間でみると、男女とも有意な増減はみられない。年齢階級別にみると、年齢階級が上がるにつれ、その割合が高くなっている。

▼「糖尿病が強く疑われる者」の判定▼

ヘモグロビン A1c の測定値があり、身体状況調査票(7)、(7-1)及び(7-2)が有効回答の者のうち、ヘモグロビン A1c (NGSP)の値が 6.5%以上、または、身体状況調査票の(7-1)「現在、糖尿病治療の有無」に「有」と回答した者

図6-1 「糖尿病が強く疑われる者」の割合の
年次推移(20 歳以上)(平成 23 年～令和
元年、4年、5年)

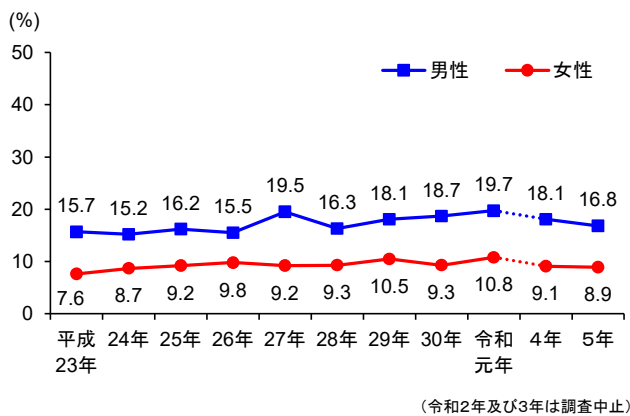


図6-2 年齢調整した、「糖尿病が強く疑われ
る者」の割合の年次推移(20 歳以上)(平
成 23 年～令和元年、4年、5年)

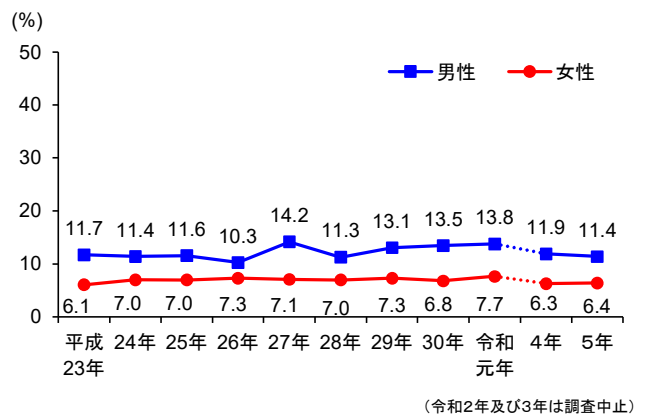
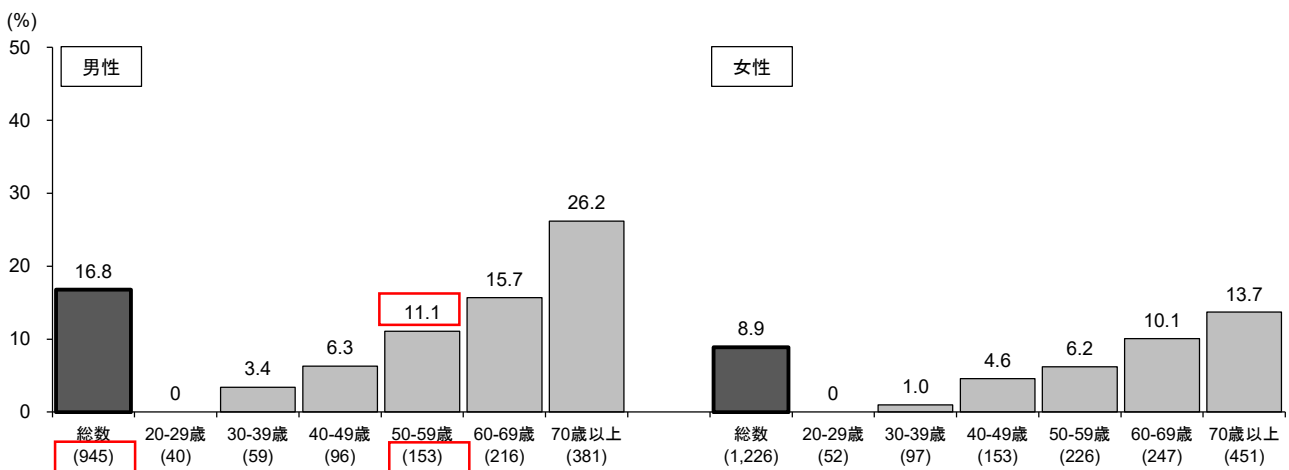


図7 「糖尿病が強く疑われる者」の割合(20 歳以上、性・年齢階級別)



(誤)

2. 糖尿病に関する状況

「糖尿病が強く疑われる者」の割合は男性 16.8%、女性 8.9%である。この 10 年間でみると、男女とも有意な増減はみられない。年齢階級別にみると、年齢階級が上がるにつれ、その割合が高くなっている。

▼「糖尿病が強く疑われる者」の判定▼

ヘモグロビン A1c の測定値があり、身体状況調査票(7)、(7-1)及び(7-2)が有効回答の者のうち、ヘモグロビン A1c (NGSP)の値が 6.5%以上、または、身体状況調査票の(7-1)「現在、糖尿病治療の有無」に「有」と回答した者

図6-1 「糖尿病が強く疑われる者」の割合の年次推移(20 歳以上)(平成 23 年～令和元年、4年、5年)

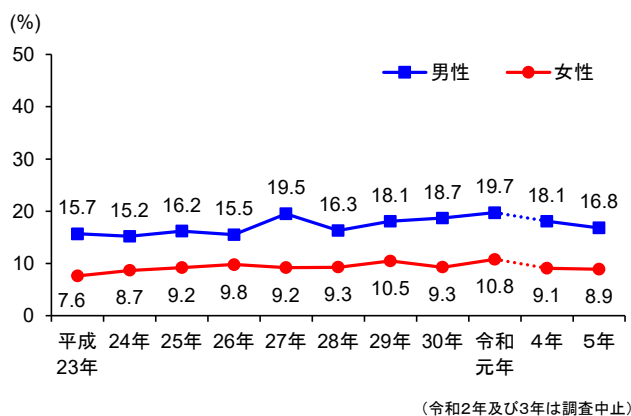


図6-2 年齢調整した、「糖尿病が強く疑われる者」の割合の年次推移(20 歳以上)(平成 23 年～令和元年、4年、5年)

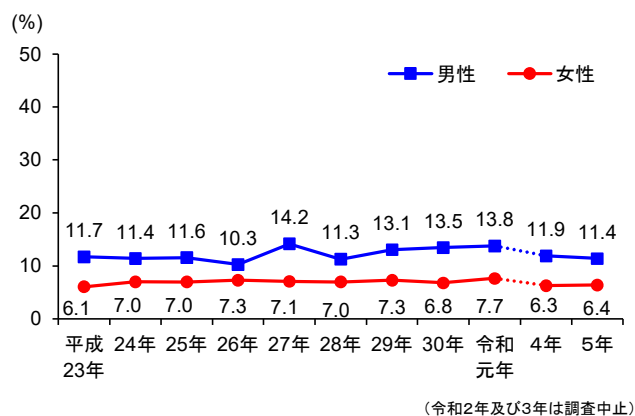


図7 「糖尿病が強く疑われる者」の割合(20 歳以上、性・年齢階級別)

